

当科では下記の病院と連携しています。

- JCHO九州病院
福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1
- 下関市立市民病院
山口県下関市向洋町1-13-1
- 福岡市立こども病院
福岡県福岡市東区香椎照葉5-1-1
- 日本赤十字社 松山赤十字病院
愛媛県松山市文京町1
- 飯塚病院
福岡県飯塚市芳雄町3-83
- 熊本市立熊本市市民病院
熊本県熊本市東区湖東1-1-60
- 国立病院機構九州医療センター
福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1
- 福岡赤十字病院
福岡県福岡市南区大楠3-1-1
- 北九州市立医療センター
福岡県北九州市小倉北区馬借2-1-1
- 高木病院
福岡県大川市酒見141-11
- 産業医科大学病院
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
- 福岡和白病院
福岡県福岡市東区和白丘2-2-75
- **福岡記念病院**
福岡県福岡市早良区西新1-1-35

ほか、多数

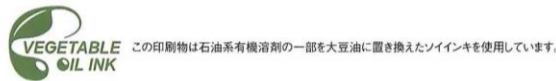


〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

九州大学病院

TEL092-641-1151 (代表)

<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



2019.4

心臓血管外科

【診療のご案内】

心臓および大血管の外科治療を行なっています。新生児から成人まで多岐にわたる心臓外科手術に対して専門医が対応いたします。「患者さん第一」をモットーに、最適な治療法を提供しています。

受付は外来診療棟1階です。

- 初診／火曜日(成人心疾患)、水曜日(先天性心疾患)、木曜日・金曜日(大動脈疾患) 要予約・紹介状
 - 再診／月・水・木・金、(ペースメーカー外来:火) 要予約
 - 休診日 土・日・祝日・年末年始
- *急ぎの方はホットラインでご連絡ください。
092-642-5046、発信音後2295

診療科ホームページ
<http://cs1.med.kyushu-u.ac.jp/surgery/vad/index.html>

●お問い合わせ(再診の予約と変更はこちら)

092-642-5565
受付/平日13:00-16:00

「患者さん第一」をモットーに、安全で最適な心臓手術を提供しています。

九州大学病院心臓血管外科ではPatients first(患者さん第一)、For the patients(患者さんのために)をモットーに、患者さんにとって何が最良かを考え、心臓血管外科の対象となるあらゆる疾患の手術を行なっています。おもな疾患は心臓血管外科の主要な分野である、先天性心疾患、僧帽弁、大動脈弁、三尖弁などの弁膜症に対する弁形成や弁置換術、大血管・大動脈に対する外科治療、虚血性心臓病に対する冠動脈バイパス、さらに重症心不全に対する左心補助装置植え込みと心臓移植など、ほとんどすべての心臓手術を網羅しています。

① 弁膜症手術

心臓の中にある逆流防止のための弁の病気に対する手術です。おもには大動脈弁狭窄症に対する手術(外科的大動脈弁置換術(図1)やカテーテル的大動脈弁置換術:TAVI(図2))を実施しています。最近、縫合固定が不要な人工弁(スーチャレス弁)が使用可能となり、大幅な手術時間の短縮と低侵襲化が図られています(図3)。僧帽弁閉鎖不全症に対する弁形成術も積極的に進んでおり、小さな創部での手術(低侵襲心臓手術:MICS)が可能となりました(図4)。ロボット手術も今後導入予定です(図5)。

(図1)人工弁(機械弁と生体弁)

機械弁:カーボン 生体弁:ウシ・ブタ組織利用



(図2)TAVI弁



(図3)スーチャレス弁



(図4)MICSの手術風景と小さな手術創



(図5)da Vinci



② 心不全外科: 補助人工心臓、心臓移植

重症の心不全(拡張型心筋症など)で薬物治療などの内科的治療が限界を越えた場合には、心臓のポンプ機能の肩代わりをする装置(補助人工心臓)の植え込みを実施することがあります(図6)。当施設は九州で最初の植込型補助人工心臓実施施設として多くの手術を行なっています。最近では小児症例にも対応しています。また、九州で唯一の心臓移植認定施設であり、人工心臓を装着された方への心臓移植手術も積極的に進んでいます。また、心疾患が原因でショック状態となった患者さんには、重症度に応じて経皮的な心肺補助装置(ECMO)や経皮的補助循環用ポンプカテーテル(IMPELLA)といった循環補助装置を使用して治療にあたっています。当科では、さまざまな疾患のあらゆる重症度の患者さんに対して、適切な治療を提供することができる体制を整えています。



(図6)代表的な左室補助人工心臓(HearthMate II)

③ 冠動脈バイパス手術

狭心症や心筋梗塞など心臓を栄養している冠動脈が狭窄したり閉塞した場合に行います。患者さんご自身のいろいろな血管を利用して、狭窄の先に血管吻合をします。条件によって心臓が動いたままの手術(心拍動下冠動脈バイパス術)も行なっています(図7)。



(図7)

④ 大動脈手術

心臓から全身の組織へ送る大動脈にはつねに高い血圧がかかっていますが、動脈硬化により脆くなった大動脈が圧力に耐えかねて拡大し動脈瘤となりますが、破裂の危険が高くなった時に人工血管で入れ替える手術を行います(図8)。最近ではステントグラフトという特殊な人工血管をカテーテルで挿入して留置する方法も積極的に進め、早期回復につながっています(図9)。



(図8)人工血管置換術



(図9)ステントグラフト内挿術

⑤ 先天性心疾患

生まれつき心臓に問題があり手術が必要となる病気には、以下のようなものがあります。

- 心室中隔欠損症
 - 心房中隔欠損症
 - ファロー四徴症
 - 房室中隔欠損症
 - 動脈管開存症
 - 総肺静脈還流異常症
 - 大血管転位症
 - 単心室症
- など

60-70パーセントは1歳未満で手術が必要であり、重度の複雑な病気の場合には、生後直ちに手術を実施することもあります。さまざまな疾患に対して、適切な手術が実施できるように専門スタッフが対応しています。最近では、創部を小さくして手術を行う低侵襲手術にも積極的に取り組んでいます(図10,11)。



(図10)胸部正中切開の創部の縮小化



(図11)右側開胸アプローチの創部(腕の下)

⑥ 成人先天性心疾患

生まれつきの心臓病をもったまま成人期に手術が必要となったり、小児期に心臓手術をしたあとに生じた問題により、再手術を行う必要がある患者さんは少なからずいます。このような場合は、特殊な検査や術式の検討が必要ですが、当施設は長年の経験の蓄積により積極的に治療に関わり実績を上げています。全国でも有数の手術数、成績を上げるに至っています。